

WMS3 スピーカー 取付金具 取扱説明書

----- 重量 3.6kg 以下の小型スピーカー用 -----

このたびは、WMS3 のスピーカー取付金具をお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。

お客様へ


本製品の組み立てには、確実な作業が必要となります。組み立ての際は、この取扱説明書をよくご覧の上行って下さい。
安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。
取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では責任を負いません。

1. 安全上のご注意


お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。


表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。


 **警告** 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。

 **注意** 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。

 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

警告



取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。
強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。



荷重に耐えられない場所には取り付けしないで下さい。
強度の弱い壁や天井に取り付けると落下してけがの原因になります。

⚠ 警告



禁止

WMS3 スピーカー壁掛け金具は、3.6kg 以下の小型スピーカーを壁面く又は天井に固定するためのものです。

3.6kg 以上のスピーカーの取り付けには、絶対使用しないで下さい。

この指定を守らないと、スピーカーが落下して、けがをしたり物品が破損する原因となります。



禁止

湿気やほこりの多いところや油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けしないで下さい。



組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めして下さい。

ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。

指定を守らないとテレビの取り付け後に破損や落下等思わぬ事故の原因となることがあります。



スピーカーの壁掛け金具を壁面に固定するネジは下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や

2. 部品一覧表

梱包を開梱し、組み立てる前に次のA図の部品名と現品の形を確認しておいて下さい。
あらかじめ組み合わせた状態で梱包した部品もあります。



(a) 壁 / スピーカー固定板・・・4コ



(b) 天井用延長ユニット・・・2コ



(c) アームアセンブリー・・・2コ

A 図



(d) スピーカーアダプター・・・2コ



(e) 壁 / スピーカ固定板カバー・・・8コ



(f) アームアセンブリーカバー・・・4コ

(g) #12 x 3/4 インチ タップネジ・・・4コ



(m) M5 x 20mm ネジ・・・2コ



(h) #12 x 1 3/4 インチ タップネジ
・・・4コ



(n) M5 x 1/8 インチ プラスチックスペーサー・・・2コ



(i) #12 プラスチックアンカー・・・4コ



(o) 8-32 x 5/8 インチ ネジ・・・2コ



(j) #8 x 3/4 インチ タップネジ・・・2コ



(p) 8-32 歯付きナット・・・2コ



(k) 1/4-20 x 1/2 インチネジ・・・4コ



(q) M4 x 8mm 皿ネジ・・・2コ



(l) 1/4-20 x 7/8 インチ 六角ネジ・・・2コ



(r) 六角レンチ・・・1コ



3 組み立てかた

1 スピーカーに保持部品の取り付け

- (1) 先ず、スピーカーを保持する部品として、壁／スピーカー固定板 (a) を使うか、スピーカーアダプター (d) を使うのか、を決めます。

スピーカーの背面に取り付け用ネジ穴が 2 つある場合や、ネジ穴のない小型スピーカーの場合は、壁／スピーカー固定板 (a) を使います。

取り付け用のネジ穴が 1 つある場合や、カギ型の穴のある場合は、スピーカーアダプター (d) を使います。

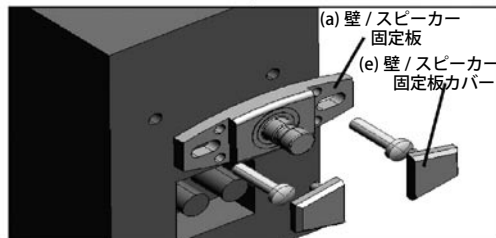
以下の説明で使うネジが不適合な場合は、市販の適切なネジを使って下さい。

(2) 壁／スピーカー固定板で取り付ける場合

取り付け穴の開いている場合は、壁／スピーカー固定板は (k) の 1/4-20 x 1/2 インチネジを用いて B 図の様に取り付けます。取り付け用のネジ穴がない場合は、壁／スピーカー固定板 (a) をスピーカー背面に配置して取り付け用の穴位置に印を付けた上で、そこに 3mm 程度の下穴を開けて、ネジ止めします。

下穴を開ける時、スピーカーキャビネットを突き破って内部の部品を破損しても、弊社では一切責任が持たませんので注意深く作業して下さい。

B 図



(3) スピーカーアダプターで取り付ける場合

取り付け穴の開いている場合は、C 図の様にスピーカーアダプター (d) を (k) の 1/4-20 x 1/2 インチネジか、(l) の 1/4-20 x 7/8 インチ六角ネジか、(o) の 8-32 x 5/8 インチネジを使ってスピーカーの背面に取り付けます。

Bose スピーカーの場合は、D 図の様に (q) の M4 x 8mm 皿ネジでスピーカーアダプターの穴を通して取り付けます。

(4) カギ型の穴のある場合

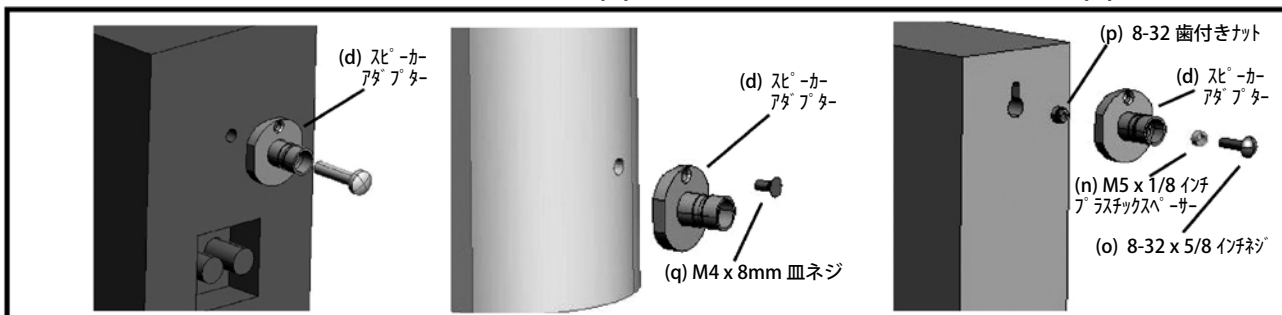
E 図の様に、8-32 x 5/8 インチネジ (o) に M5 x 1/8 インチプラスチックスペーサ (n) を使って、スピーカーアダプター (d) の穴に通します。

次に、(p) の 8-32 歯付きナットの歯をスピーカーアダプターの方に向けて 8-32 x 5/8 インチネジに少しだけねじ込みます。この歯付きナットの歯のある方がスピーカーキャビネットの裏側と接触する様にカギ型穴の中に入れた後、このネジをしっかりと締め付けます。

C 図

D 図

E 図



2 壁に保持部品の取り付け

- (1) 取り付ける壁面が、木の柱か、コンクリート壁なのかを決めて下さい。

なお、保持部品は、石膏ボード等の軟弱な壁には取り付け出来ません。

壁面に取り付ける工程は、安全上重要であり、不適切な工事は、けがや財産に損害を与える恐れがあります。

(2) 木の柱に取り付ける場合

保持金具の取り付け場所を決め、その取り付け壁面に建っている十分強度のある柱の位置を見つけます。

壁／スピーカー固定板 (a) を壁面に当てて、取り付け用の穴位置に印を付けた上で、そこに 3mm 径で深さ 38mm 程度の下穴を 2 つ開けます。

穴の位置が丁度柱の中心で、且つ 2 つの穴が垂直になっている事を確認して下さい。

壁／スピーカー固定板 (a) を、#12 x 1 3/4 インチタッピングネジ (h) 2 本で壁面の柱にしっかりと固定します。

この木ねじを柱の端部分に取り付けると、強度不足によりけがや財産に損害を生ずる場合がありますので、柱の丁度中心付近になければなりません。

(3) コンクリート壁に取り付ける場合

保持金具の取り付け場所を決め、その取り付け壁面に壁／スピーカー固定板 (a) を当てて、2ヶ所の穴位置に印を付けます。

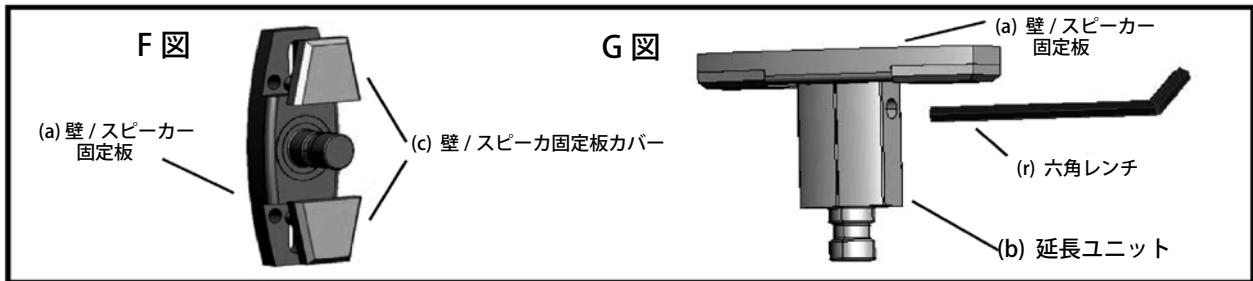
印を付けた 2ヶ所の位置に、8mm の石工用ドリルで深さ 45mm の下穴を開け、プラスチックアンカー (i) を埋め込みます。

プラスチックアンカーの表面は、壁面と同一となるよう注意して下さい。

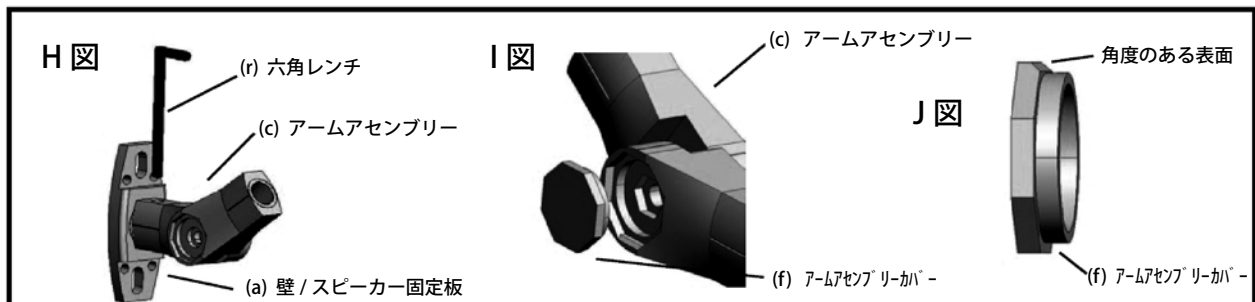
壁／スピーカー固定板 (a) を、#12 x 1 3/4 インチタッピングネジ (h) 2 本でプラスチックアンカーにしっかりと固定します。

3 部品の組み立て

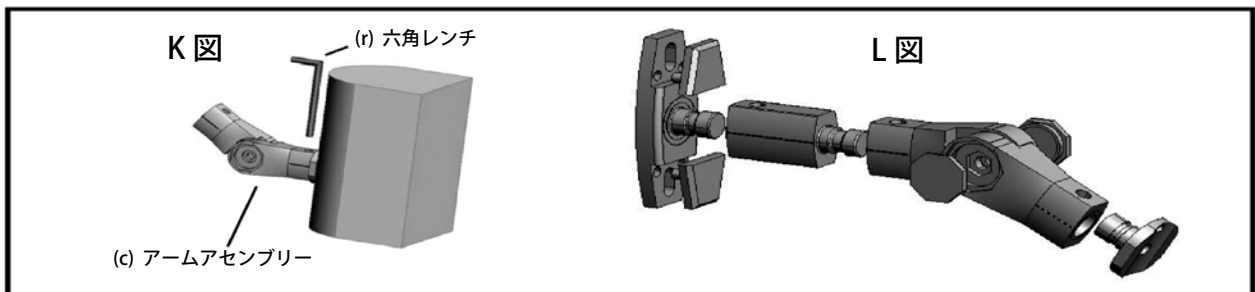
- (1) 前項で壁に取り付けた壁／スピーカー固定板 (a) に、壁／スピーカ固定板カバー (e) を F 図の様に詰め込みます。
- (2) もし、スピーカーを天井に取り付ける場合は、天井用延長ユニット (b) を壁／スピーカ固定板に挿入し、G 図の様に側面のネジを六角レンチで程よい加減で締め付けます。
締め付け過ぎは、決して2つの部品の結合を強化する事にならないので注意して下さい。
延長ユニットを使用しない場合は、次の (3) 項に進んで下さい。



- (3) アームアセンブリ (c) を H 図に示す様に、壁／スピーカー固定板 (a) に差し込み側面のネジを六角レンチで程よい加減で締め付けます。
締め付け過ぎは、決して2つの部品の結合を強化する事にならないので注意して下さい。
- (4) アームアセンブリカバー (f) を I 図の様に取り外します。
中に隠れていたネジを六角レンチで一旦緩め、希望される角度にアームアセンブリを調整した後、再びこのネジを締め付けます。
この隠れているネジを緩めないでアームアセンブリの角度を調整すると内部の部品が変形して、角度を保持する力が減衰するので注意して下さい。
- (5) アームアセンブリカバー (f) を J 図を参考にして元の場所に取り付けます。
アームアセンブリカバーはアームアセンブリ (c) に対し、ある一方向に向けないと取り付けません。



- (6) 最後に、K 図及び L 図の様に、スピーカー保持部品が取り付けられたスピーカーを、アームアセンブリに固定します。
スピーカーの方向をもう一度調整したい場合は、上記の (4) 及び (5) 項を繰り返して下さい。
なお、締め付け過ぎは、決して2つの部品の結合を強化する事にならないので注意して下さい。



SANUS SYSTEMS

お問い合わせ、ご購入は営業窓口へ

Sanus Systems 輸入総代理店・発売元 ネットワークジャパン株式会社

〒559-0012 大阪市住之江区東加賀屋2-8-12 Tel: 06-6686-6355 Fax: 06-6681-5734

E-mail: info@network-jpn.com

URL: http://www.network-jpn.com/sanus/